

ここから 変わる近未来



地方創生特区・近未来技術実証特区



山本大臣に申し入れを行う特区指定自治体等

【最近の動向②】
国家戦略特区に関する山本大臣への緊急提言の申し入れ
国家戦略特区では、これまでに数多くの岩盤規制改革が実現し、成果をあげてきていました。が、獣医学部新設を巡り、これまでの国家戦略特区の運営や原則を否定するような議論が行われています。この議論に強い危機感を感じた特区指定自治体（神奈川県知事、成田市長、新潟市長、養父市長、福岡市長、沖縄県知事、千葉市長、北九州市長、広島県知事、今治市長、仙北市長）と特区事業者（2社）、特区議員（5名）の3団体で、6月26日に中央合同庁舎8号館（東京都内）で、山本大臣に「国家戦略特区の今後の運営について」緊急提言の申し入れを行いました。

◆市長の発言概要

仙北市では無人運転バスの公道での実証実験を行った結果、試乗した子どもたちに、夢を与えることができました。ロボットプログラミングの勉強も始まり、県内コンクールでも優秀な成績を収めることができるようになってきています。変化が起きています。国有林は市域面積の7割も占める大きな財産ですが、市民の生活に直接恩恵があるかと言われるとそうでもありません。この国有林の活用方法を変えていこうと、民間にもっと活用してもらおうという考えで動いています。旅行業法の改正もしていただき、今後農家民宿や宿泊業者の方々が旅行業を始めやすい環境になります。国がどうのこうのという話でなく、生活者が自分たちの生活をより豊かにしていこうと動いています。この流れを止めたいはいけません。国家戦略特区は、地域の方々が思い描く夢を実現するために、国と一緒に取り組める制度だと思えます。この流れを止めてしまえば、地域が疲弊してしまいます。日本国民が全員で国を作っていくための第一歩が、この国家戦略特区です。この思いをしっかりと伝えていただきたいです。

【最近の動向①】

外国医師の臨床修練制度の実施に向けた事前実証

6月17日～20日の4日間にわたり、台湾大学医院金山分院から趙家徳（ちようかとく）医師をお招きし、新玉川温泉の入浴相談室で湯治客等を対象とした湯治・健康相談を市川晋一西明寺診療所長の協力のもと実施しました。

この事前実証は、国家戦略特区の規制緩和メニューである「単独の診療所における外国医師等が行う臨床修練制度」の活用に向けた前段として、温泉を活用した健康増進および外国人観光客の誘客を進めるうえでどんな課題等があるか、抽出するために行いました。

台湾アジア太平洋国際温泉観光協会秋田・仙北市玉川大会に参加された台湾からの観光客5人に協力いただき、入浴方法や温泉の効能、持病などについて相談され、ほとんどの方が日本の温泉地で湯治健康相談が可能であれば利用したいと回答しました。

◆市長の発言概要

今後は、規制緩和メニューの活用に向けた検討と、市民および外国人観光客が安心・安全に湯治ができるような取り組みの検討を進めていきます。



台湾からの観光客(右)に湯治健康相談を行う趙家徳医師(中央)と市川晋一西明寺診療所長(左)



事前実証を行った趙家徳医師

「単独の診療所における外国医師等が行う臨床修練制度」とは……

臨床修練制度の活用による外国医師の受入れを、現在の「指定病院との間で緊密な連携体制が確保された診療所」から、指導医による指揮監督体制を確保し、国際交流の推進に主体的に取り組むものであれば、「単独の診療所」でも臨床修練制度の活用が可能となる特例。

臨床修練の定義

厚生労働大臣の指定する病院において、外国医師等が指導医等の実地の指導監督の下に医業等を行うこと。



申し入れ後に行われた特区指定自治体による記者会見の様子

ドローンテクニカルチャレンジ in 仙北市



ドローンの操縦技術を競う大会が次の日程で開催されます。ぜひご観覧ください。

【日時】7月22日(土) 11時30分～14時 学生部門

7月23日(日) 9時～17時 一般部門

【場所】田沢湖スポーツセンター体育館

問合せ

仙北市地方創生・総合戦略室（田沢湖庁舎）

☎(43)3315